

令和3年（2021年）度 地域連携活動報告書

連携先名称：兵庫県

協定締結日：2017年4月24日

活動状況：継続中

連携先窓口：兵庫県庁、兵庫県 企画県民部 地域創生局 地域創生課

活動資金：自治体予算

担当教員（所属）：上原 巖（森林総合科学科）、 穂坂 賢（醸造科学科）

活動体制（単位）：大学 、 個人

関連教員（所属）：上原 巖（森林総合科学科）、 穂坂 賢（醸造科学科）

上原 巖（森林総合科学科）

活動目的：兵庫県立森林大学校における講義および実習

活動内容・成果：

兵庫県宍粟市に所在する県立森林大学校での講義、実習に、同校設立時から関与しており、令和3年度も森林・林業関係者の養成をおこないました。

課題・改善点：

連携締結時から継続して事業に取り組んでいる地域ですが、森林・林業関係だけでなく、さらに多方面での連携ができればと思っています。

穂坂 賢（醸造科学科）

活動目的：地域連携、活性化

活動内容・成果：

兵庫県農業試験場の杉本課長による講演とJA全農兵庫県本部との連携による講演をいただいた。講演内容は以下の通り。

令和3年7月2日（金）、13:50～16:10、オンラインにて

* 杉本琢真（兵庫県立農林水産技術総合センター 農産園芸部 課長）

演題「兵庫県における山田錦の育成・栽培・生産及びブランド化に向けての取り組み」

* 桐山裕史（全農兵庫県本部 米麦部長）

演題「兵庫県産山田錦の生産・流通について」

授業資料の提供と学生交流

授業用資料として全農兵庫県本部を介して、山田錦玄米 600 kg を提供いただき、醸造科学科 3 年生の清酒製造実験に活用させていただいた。

学生交流として、県内の酒造会社（2 社：壺坂酒造、本田商店）に醸造科学科 3 年生 4 名のインターンシップの受け入れをしていただいた（令和 3 年 12 月 13 日から 12 月 24 日まで）。

課題・改善点：

醸造科学科としては、良い交流を図っているが、本学全体としての連携はわかっていない。